



練馬区立開進第一中学校

開進一中だより

平成30年度 第10号 平成31年2月28日発行

入試の改革と求められる力

校長 古山真樹

早いもので2月も終わろうとしています、日本にとって2月は受験のシーズンとも言えます。3年生も一人一人の目標を突破するために高校入試に頑張りました。その入試、とりわけ大学入試が大きく変わろうとしています。大学入試は2020年度から現行の「センター試験」が「大学入学共通テスト」となります（現在の高校1年生から）。変更点としては、国語、数学に記述式の問題が出題されること、英語は民間の資格・検定試験を活用して、「読む・聞く・話す・書く」の4技能すべてが試され、新たにスピーキングテストが課せられます。約40年ぶりの大変革と言えます。都立高校の入試でも2022年度から英語にスピーキングテストが導入されます（現在の小学校6年生からです）。

では、なぜ改革が必要なのか。それはこれまでの国際的な調査でも明らかになってきた日本の若者の表現力の弱さにあります。さらにグローバル化の進展に伴い、ますますコミュニケーション能力が重要となってくるからです。また11月号でも述べたとおり進化し続ける予測不能な時代に対応していくためには、自分で問題を発見し、周りの人と協力し合って解決していく能力が必要だからです。即ち思考力・判断力・表現力が求められるのです。そこで入試もこれまでの知識の量を測る傾向から、「思考力・判断力・表現力」を問うものになります。当然、形態だけでなく出題の傾向も大きく変わることでしょう。

もう一つ知っておいてほしいことが、最近多くの大学で取り入れているAO入試です。いわゆる推薦入試と違っていいでしょう。こちらにも目的意識や表現力が問われます。志望理由書、高校での活動実績書、面接、小論文、プレゼンテーションやグループディスカッションなどで合否を決めます。

さて、入試改革について述べてきましたが、大学へ進学しない人もこれからの社会で求められる力が何かを知っておくことはとても大切なことです。社会では主体性、多様性、協調性が求められます。ですから新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」が求められ、今学校でも話し合い活動を重視し、各教科で実践しています。皆さん一人一人が主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけていきましょう。それがこれからの社会を生き抜く力となります。

今月の一句

みずまくら

水枕ガバリと寒い海がある

さいとうきんき
西東三鬼

私が学生時代に最も衝撃を受けた作品の一つです。なんと言っても「ガバリと」という擬音語が強烈なインパクトをもって読者の胸に突き刺さってきます。あえて濁音のある語をカタカナ表記しています。俳句の常識にとらわれない大胆な表現が斬新で画期的、俳句に新境地を吹き込んだ作品と言えます。

この俳句の独創性は、熱にうなされ、寝返りを打ったときの水枕の内部から聞こえてきた音を見事に捉えたところにあります。流水漂う北の海を連想させます。そして自分の頭の下には寒い海がある。水枕の中に一つの世界があると感じ取った感性が卓越しています。何か死の影を感じるような心象風景です。心象風景とは、現実にはない心の中に描いた風景やその人の心の様子を映し出した情景を言います。このときのことを作者自身が「昭和10年、急性肺結核の熱にうなされていた。家人や友人の憂色によって、病軽からぬことを知ると、死の影が寒々として海となって迫った。」と述べています。水枕の氷の動く音一つから見事な世界観へと広げた秀逸の句と言えます。

平成30年度 保護者アンケート 結果と分析

本年度も保護者アンケートにご協力をいただき誠にありがとうございました。特に今回は、これまでで一番の回収率であったことに感謝申し上げます。また様々なご意見を基に次年度の教育活動に生かしていきたいと思っております。

No.	調査項目	回収率：82.5%				
		1年:129名 2年:110名 3年:128名 全体:367名 (家庭数445)				
		肯定評価		否定評価		わからない
そう思う	ある程度 そう思う	あまり思 わない	そう思 わない			
1	学校だより、学年だより、ホームページ等を通じて、学校の様子を伝えている	54%	40%	4%	1%	1%
2	保護者会、学校公開、三者面談等を通じて、保護者との共通理解に努めている	49%	44%	5%	1%	1%
3	めあてをもった分かりやすい授業を工夫している	16%	53%	8%	0%	23%
4	運動会、文化発表会、合唱コンクール等の行事を通じて、生徒の力を引き出している	40%	49%	8%	1%	2%
5	職業調べ、職場体験、上級学校訪問を通じて、3年間を見通した進路指導を行っている	35%	49%	6%	1%	9%
6	道徳の授業を中心に命の大切さや思いやり等の道徳心を高めようと努めている	22%	49%	7%	1%	21%
7	挨拶や言葉遣い、規範意識を高める指導を行っている	19%	53%	12%	2%	14%
8	教育相談の充実を図り、いじめや不登校の未然防止に努めている	18%	46%	13%	3%	20%
A	お子様は、楽しく学校生活を送っている	49%	40%	7%	2%	2%
B	お子様は、普段の授業や定期考査に意欲をもって取り組んでいる	28%	46%	18%	6%	2%
C	お子様は、家庭学習の習慣が身に付いている	19%	35%	31%	14%	1%
D	お子様は、挨拶、言葉遣い、学校生活の約束事をしっかりと守っている	26%	57%	13%	2%	2%
E	お子様は、思いやりの心をもって人に接している	33%	59%	5%	1%	2%

アンケート項目について

アンケート項目の評価に関しては、例年同様の高い肯定評価をいただきました。90%、80%以上の数値はたいへんうれしいことで、自信をもって、より一層の充実に努めてまいります。ただしNo.3、6、8が「わからない」が20%台ということは広報不足かとも思われます。No.6に関しては、来年度より道徳が教科化され、通知表に所見による評価が始まりますので、そこで確認していただきたいと思います。No.8に関しては「いじめ、不登校」共に東京都の出現率を下回っています。

自由記述について（複数意見があった点についてお答えします）

最近、あいさつをする生徒が減っている。

これは保護者の意見を待たずして、我々教員も感じているところです。これまでと同じように指導をしていますが、減ってきているのは事実です。あいさつに必要性を感じない生徒が増えているのではという意見も聞かれます。SNSの世界の影響も専門家からは指摘されています。精神的な成長の遅さも感じられます。改めて気持ちの良いあいさつの溢れる学校を目指してまいります。

学校のホームページが充実していてありがたい。

「学校便り、HPが親子の会話のきっかけになっている」「プリント類などの情報をアップしてもらい助かっている」など、多くの感謝の言葉をいただきました。今後も大切な情報提供の手段として充実させてまいります。先日の2年生スキー教室の4日間では6500件を超えるアクセスをいただきました。ありがとうございました。

置き勉について

本校では年度当初「置いていっていい物」を各教科が決めています。文部科学省からの通知は十分に配慮してまいります。忘れてならないのは教科書・ノートを持ち帰って予習・復習することの大切さです。特に復習は今日習ったことを定着させる最高の効果があります。Cの質問の家庭学習を定着させることを第一と考えます。そのためのスクールバッグの自由化でもあります。

来年度の変更点

◎文化発表会と合唱コンクールの時期を入れ替え、合唱コンクールは練馬文化センターで開催します。

例年合唱コンクールでは3年生の受験の時期から練習が始まり、全員がそろわなかったり、伴奏者に大変な負担を強いている状況があるため、入れ替えて実施することとしました。また、せっかくの素晴らしい歌声を体育館ではなく音響効果の優れたホールで行うことで、よりやりがいを持たせたいと思っています。

- ・合唱コンクール＝10月21日（月）実施（そのため19日土曜日は授業日とします）
- ・文化発表会＝3月7日（土）実施（3月9日（月）は振り替え休業日）

◎定期考査の最終日に給食を実施します。

これにより、定期考査の最終日に生徒の活動を入れたり、部活動も再登校なしで実施することができます。

すばらしいスキー移動教室になりました！

2年生は、2月22日から3泊4日でスキー移動教室を行いました。場所は、武石少年自然の家（ベルデ武石）です。

初日は気温も上がり、暖かな中での実習となりました。逆に2日目、3日目は気温がグンと下がり、寒い中での実習となりましたが、けがもなく元気にスキーをすることができました。そして見違えるほどスキーが上達しました。

夜は、みんなで合唱の練習をするなど、普段とは違った宿舍生活の中で、クラスの絆も深まったと思います。係の生徒も一生懸命で、大変すばらしいスキー移動教室になりました。



第22回毎日俳句大賞(全国)受賞者

こどもの部【入選】

3年 福留 誠咲久

山脈の空みどりなすヒヤシンス

こどもの部【佳作】

1年 吉田麻なび

夕焼や見とれてしまい夜の中へ

1年 大村 航平

蟻のぼるざらざらの葉の温かさ

1年 陶山 奈桜

草いきれ赤の実一つ葉のなかに

1年 伊藤 晴名

髪結びなれない浴衣に袖通す

1年 山本 遼

鳥の声通る自転車長い夏

1年 永沼 礼士

少女の手気づけば上に原爆忌

2年 島野 莉歩

水を足し雲に近づく水中花

2年 市川 ゆり

絵日記に血の色描く原爆忌

2年 藤田 夏穂

水道に蜘蛛を発見青嵐

3年 大村 祐介

人生のとなり町までころもがえ

3年 折野 孝樹

思い出に吸い込まれそう夏の風

3年 後藤 早貴

春風の野にたたずんで息をすう

3年 中澤 翔

石窯で焼かれるピザの端に黴

家庭科副読本「快適なすまい」
読書感想文コンクール入賞者（全国）

【金賞】藤井 香帆（2年）

【銅賞】笠継 莉愛（2年）

文科省・金融庁後援・金融広報中央委員会主催
「お金の作文」入賞者（全国）

【佳作】渡邊 みちる（2年）



約4ヶ月の工事期間を経て、格技室の外壁、そして屋上のプールが完成しました。今度の夏は、新しいプールで泳ぐことになります。（プールの写真は、3月にホームページで紹介します）